

M3T-PD308F, M3T-PD30F, M3T-PD308, M3T-PD30, M3T-PD79, M3T-PD77, M3T-PD38

日本語版・英語版

バージョンアップのお知らせ

以下のようにエミュレータデバッグをバージョンアップしました。

- PC7501用エミュレータデバッグ
M3T-PD308F V.3.20 Release 1 (M32C/80, M16C/70シリーズ用)
M3T-PD30F V.2.20 Release 1 (M16C/60, M16C/Tinyシリーズ用)
- PC4701用エミュレータデバッグ
M3T-PD308 V.5.20 Release 1 (M32C/80, M16C/80シリーズ用)
M3T-PD30 V.8.20 Release 1 (M16C/60, M16C/30, M16C/Tiny, M16C/20, M16C/10シリーズ用)
M3T-PD79 V.4.20 Release 1 (79xxシリーズ用)
M3T-PD77 V.4.20 Release 1 (77xxシリーズ用)
M3T-PD38 V.5.20 Release 1 (740ファミリ用)

はじめに

2004年4月1日から、M16Cファミリ用エミュレータPC7501にM3T-PD308FおよびM3T-PD30Fをバンドルして販売します。また、M16C, 7700, 740ファミリ用エミュレータPC4701対応エミュレータデバッグを無償提供します。今回のエミュレータデバッグのバージョンアップは、この販売方法の変更も兼ねております。

詳しくは、2004年4月1日発行の次のRENESAS TOOL NEWSをご参照ください。

- 「エミュレータPC7501へのエミュレータデバッグM3T-PD308FおよびM3T-PD30Fバンドル開始のお知らせ」
- 「エミュレータPC4701対応エミュレータデバッグ無償提供開始のお知らせ」

1. バージョンアップ内容

1.1 新機能

- (1) 全エミュレータデバッガ：エミュレータへのバンドル開始に対応し、インストール時のライセンスIDの入力を不要にしました。
- (2) M3T-PD30Fのみ：M16C/Tinyシリーズをサポートしました。

1.2 機能改善

- (1) M3T-PD308F, M3T-PD30F, M3T-PD308, およびM3T-PD30：ターゲットプログラムをダウンロードする時に、以前のソフトウェアブレイクポイントおよびアドレス一致ブレイクポイントをすべて削除するようにしました。

1.3 改修内容

- (1) M3T-PD308Fのみ：
MRトレースウィンドウ, MRアナライズウィンドウで、OS独立割り込み及びOS独立割り込み発生により影響を受ける部分（OS独立割り込みにより割り込まれたタスク等）の履歴表示結果に誤差が含まれる場合がある制限事項を改修しました。
- (2) M3T-PD308FおよびM3T-PD308：
SCCnd命令のdestとして、A0 または A1レジスタを指定している場合にプログラムウィンドウ等で逆アセンブル表示すると、該当命令の表示が「???」になる場合がある制限事項を改修しました。
詳細は2003年12月16日発行のRENEASAS TOOL NEWS"M3T-PD308SIM, M3T-PD308F, M3T-PD308, M3T-PD308Mご使用上のお願い" を参照してください。

2. バージョンアップ方法

以下のオンラインバージョンアップサイトよりダウンロードしてください(無償)。

日本語版はこちら

英語版はこちら

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。